

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	地球核の最適モデルの創出
研究代表者	大谷 栄治（東北大学・大学院理学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	本研究は、ダイヤモンドアンビルを使った地球中心核に対する革新的アプローチであり、高く評価できる。研究手法、研究目的も明確であり、内核までの条件は出せないものの外核の条件を達成でき、外挿が比較的 安全になされると判断される。 本研究は、我が国が世界に誇る研究内容であり、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。 なお、軽元素特性に関しては、変数（検討する軽元素の濃度）が多く、工夫が必要であろう。また、高額な消耗品費の軽減に対する努力も望まれる。